

七福神像市内に設置完了

街づくり柏七福神の会



最後の寿老人像が戸張の香取神社に寄進された

街づくり柏七福神の会（瀧田秀雄代表）は先月31日、戸張にある香取神社に寿老人像を寄進した。同会は平成21年1月から「市内に七福神像を設置し、観光の一環にしよう」と市内各社に働きかけ、8年という歳月をかけて全七柱設置実現に至った。「願いが叶いほつとしている。これからは巡拝コースを考えたり、アピール方法を考えたい」と瀧田代表。

七福神像は、幸町弁財天（柏4丁目）に弁財天像、香取神社（旭町2丁目）に恵比寿天像、豊受稲荷本宮（豊四季）に福禄寿像、福満寺（大井）に布袋尊像、神明社（塚崎）に大黒天像、大洞院（花野井）に毘沙門天像を寄進してきた。

寿老人については、七福神像を取り扱った瀧島石材店の瀧嶋壽一社長が、香取神社に打診した。申し出に対し、神社の瀧島章平責任総代は「多くの方に語ってもらえるよう管理していきたい」と語った。

今後について瀧田代表は充足から8年が経過した同会の高齢化に言及。

「新たな仲間を求めている」とした。問い合わせは、7167-3816 瀧田さんまで。